

清康君御代

(高と家紋は諸家系譜より)

可児

高百五拾俵

大伴姓

家紋

丸之内可之字
八本矢車
丸之内二ッ引

國常立五拾三代

家兼

左衛門尉

六角家^二仕三河國設楽郡居住家名

上野^登称^ス

秀資

上野^{上野}
美濃

六角家^二仕

秀勝

上野^{上野}
藤左衛門

到三州

善徳院殿^江奉仕○天文四年十二月五日

御逝去後三州^二歸

瑞雲院殿^江奉仕○

東照宮^江奉仕○永禄七年一向乱之時討死

勝政

可児藤次郎

始^始
上野但馬

父打死後有故苗字可児^登相改

勝貞

左門

勝房

弥惣右衛門

常憲院殿御代被召抱御徒○組頭○元禄

八年八月八日^十死葬牛込保善寺

以下略